

関西大学

博物館実習展

入館料／無料

2025

11月9日〔日〕
11月27日〔木〕



華やぐ大坂

二〇二五年度 関西大学博物館実習展

役者絵にみる熱狂の系譜

2025年
11月9日(日) - 11月27日(木)

日曜日休館(11月9日のみ開館)

10:00 - 16:00 入館料 無料

関西大学博物館 特別展示室(簡文館内)

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL: 06-6368-1171

2025年度関西大学博物館実習展

日中探訪
～古代に触れる～



【開館時間】10:00～16:00

【休館日】11.16(日)、11.23(日)

【入館料】無料

【会場】関西大学博物館 特別展示室(簡文館内)
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35
TEL: 06-6368-1171

漫遊すごろく展

二〇二五年度 博物館実習展

くすくすから見る大衆文化



11/9(日)～11/27(木)
10:00～16:00

11/16(日)11/23(日)休館

入館料:無料
関西大学博物館 特別展示室(簡文館内)
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL: 06-6368-1171

2025年度 関西大学博物館実習展

松竹座100年のあゆみ
時代を彩ったエンターテインメント



2025年
11.9〔日〕 - 11.27〔木〕

開館時間 10:00～16:00
休館日 11月16日(日)、11月23日(日)
入館料 無料
会場 関西大学博物館 特別展示室(簡文館内)
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL: 06-6368-1171

寺内町 貝塚

歴史が息づくまち
KAI ZUKA JIRAKU
A Historic Town Where History Lives On



二〇二五年度関西大学博物館実習展

*日曜日休館 (日) 2025 11.09 -- 11.27 (木) 開館時間 10:00 - 16:00

入館料 無料 関西大学博物館 特別展示室(簡文館内) 〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL: 06-6368-1171

休館日

11月16日・23日〔日〕

場所

関西大学博物館
特別展示室(簡文館内)

開館時間

10時～16時
(入館15時30分まで)

関西大学 博物館実習展

2025年 11月9日[日]～11月27日[木] 休館日:11月16日・23日[日]

開館時間:10時～16時(入館15時30分まで) 場所:関西大学博物館特別展示室(簡文館内)

入館料/無料

実習生による展示解説

11月9日[日]～14日[金] 各日10時～16時



華やぐ大坂 役者絵にみる熱狂の系譜

浮世絵は、今や世界中の人々に愛されています。しかし、大阪で独自の浮世絵が発展したことはあまり知られていません。大阪の浮世絵は「アクが強い」「粘っこい」と評されることが多く、鮮やかな色彩と細密な描写を特徴としています。また、役者絵が多くを占めるのも特筆すべき点です。

昨今、上方歌舞伎を題材とした映画が注目を集めています。そこで本展では、現代の人々をも惹きつける上方歌舞伎の魅力を、華やかな大阪の役者絵と共に紹介します。近世大坂の人々が感じた熱狂の一端を感じていただければ幸いです。



日中探訪 ～古代に触れる～

日本と中国の古代はどのようなものだったのかを展示品を通して感じてもらう展示会です。中国のちょっと変わった工芸品や日本の埴輪を通して、日中の古代を体感できます。今回の展示では古代(中国:前漢～後漢期、日本:弥生～古墳期)の展示品を中心に精神世界や文化を探っていきましょう。特に注目すべき展示品は「緑釉猪圈」で日本とは違った大陸の生活と考え方を知ることが出来ます。日中の精神世界を是非一度体感してください。



漫遊すごろく展 ～すごろくから見る大衆文化～

さいころを振り、出た目の数だけ駒を進め、ゴールであるアガリを目指す「双六遊び」。双六は飛鳥時代に伝来し、絵双六として江戸期に発展を遂げました。

遊びはどの時代にも存在し、その時代の流行、文化、空気感を色濃く反映する鏡です。遊びのひとつである双六も、絶えず変化する歴史の中で、大衆の文化芸術をその身に反映させてきました。特に双六が流行した江戸期は文学、演劇、音楽をはじめとした文化芸術が豊かに育まれた時代であり、江戸文化の発展と共に双六の形も多様化しました。

本展では江戸期を中心として、日常を華やかに彩った文化を、絵双六を通して辿ります。



松竹座 100年のあゆみ ー時代を彩ったエンターテインメントー

この展示会では、演劇の資料を中心に、時代とともに移り変わる松竹座の姿をご覧いただけます。2026年の閉館が発表された今、松竹座が人々に愛されてきた軌跡を、貴重なポスターや雑誌、メディア記事を通してご紹介いたします。

歌舞伎からミュージカル、アイドル公演まで、時代とともに移り変わる松竹座の姿をご覧いただけます。大正時代のモダンな雰囲気から、戦後の復興期、そして現代に至るまで、それぞれの時代の魅力を伝える展示の数々です。大阪の人々の記憶に深く刻まれた松竹座の魅力を、ぜひこの機会にご体感ください。



歴史が息づくまち 貝塚寺内町

江戸時代の人々は町や村をはじめとした、それぞれの居住空間のもとで生活を営んでいました。当時は寺院を中心に形成された「寺内町」と呼ばれる形の町がありましたが、本展示で扱う貝塚寺内町(大阪府貝塚市)もその一つです。

現在でも「つけ櫛」などが名産品として製造されており、「摂河泉文庫」には寺内町の文化を伝える多くの品々が集められています。また、同地の町並みは歴史的な景観を残すものとして登録有形文化財に登録されている建築物も多く、本展示を通じることで人々が紡いできた景観とくらしを楽しんで頂きたいと思います。



関西大学博物館 関西大学千里山キャンパス 簡文館内

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL: 06-6368-1171

<https://www.kansai-u.ac.jp/Museum/> E-mail: hakubutsukan@ml.kandai.jp

[アクセス] 関西大学千里山キャンパス 阪急千里線「関大前」駅 徒歩10分